

「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制に関する タスクフォース」による検討について

資料2

新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制のあり方について、
専門家によるタスクフォースを立ち上げ、検討を実施。

1 座長：森村 尚登 氏（東京大学大学院医学系研究科 救急医学教室 教授）

2 前回以降の経過

タスクフォース会議を 12/23, 1/6, 1/13 に開催。

(1) 『新型コロナウイルス感染症患者の療養／入院判断フロー』の検討

① 65 歳以上70 歳未満の患者の入所要件見直し

※「基礎疾患なし」に加え「高血圧の治療中で薬剤の内服等で安定かつ薬持参可能」の患者を受け入れるよう見直し。「認知機能に大きな問題がないこと」の要件は継続。

② 判断フローへの「自宅療養」の追加に係る検討

(2) 検査から入院までの各対応段階における課題について意見交換